

F123		伝道学特殊講義A2	
英名科目名	Special Lecture: Shin Buddhist Propagation A2		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL : 075-645-7891 FAX : 075-643-5021		
担当教員	中村 陽子		
開講期間	2021年09月30日(木)～2022年01月13日(木) 3講時 13時30分～15時00分(毎週木曜日)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	木曜日 3講時
単位数	2	履修年次	3年次以上
会場	大宮学舎		
授業定員	120		
単位互換生定員	15	京カレッジ生定員	15
試験・評価方法	レポート100% 学習課題、最終課題、レポートを総合的に評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	30,000円(単位互換履修生は不要)		
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 龍谷大学大宮学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>目的・ねらい 病むこと、老いること、死んでいくことへの不安、苦悩は医療と仏教の共通の課題である。医療・仏教の連携について考える。</p> <p>講義概要 仏教者が、療養者とその家族の一番の理解者として連携の場でその力を発揮するため、日本の社会保障の現状や政策等の知識や価値、倫理を学ぶ。地域医療の課題、そして仏教のこれからの役割について考える。また、在宅医療やエンド・オブ・ライフケアにおける多職種連携の方法を学び、仏教者の地域包括ケアシステムの一員としての役割を考える。</p> <p>講義方法 事例等を用いて、これからの社会・地域に求められる仏教の役割とその実践について考える。また、医療・福祉・介護専門職等の役割を理解し地域医療の現場の実態と連携について学ぶ。 毎回資料を配布する。</p> <p>授業時間外における予・復習等の指示 社会の動きと自分が暮らす地域の現状に深い関心を持つこと。また、地域における仏教のかかわりについて自分で考える習慣を身につける。自分の暮らす地域の人々の健康と生活に深い関心を持つこと。また、医療・福祉・介護の現状を把握して授業に参加し、目と手、五感を駆使して聴き、考えること。</p>			
講義スケジュール			
第01回 オリエンテーション 第02回 社会の現状と課題 第03回 社会の現状と課題 私たちを取り巻く社会 第04回 地域包括ケアシステムについて 第05回 地域包括ケアシステムについて 連携について考える 第06回 地域包括ケアシステムについて 多職種連携 第07回 地域包括ケアシステムについて 仏教の役割と連携 第08回 暮らしの場で認知症を生きる 第09回 暮らしの場で終末期を生きる 第10回 暮らしの場で終末期を生きる 第11回 老病死と医療・仏教 第12回 仏教と医療の連携 第13回 仏教と医療の連携 第14回 仏教と医療の連携 第15回 まとめ			
教科書	テキスト 鍋島直樹『生死を超える絆』		

	親鸞思想とビハーラ活動』(方丈堂出版)
参考書	